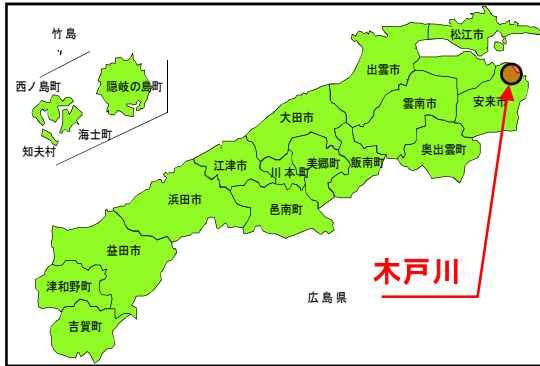


木戸川 総合流域防災事業

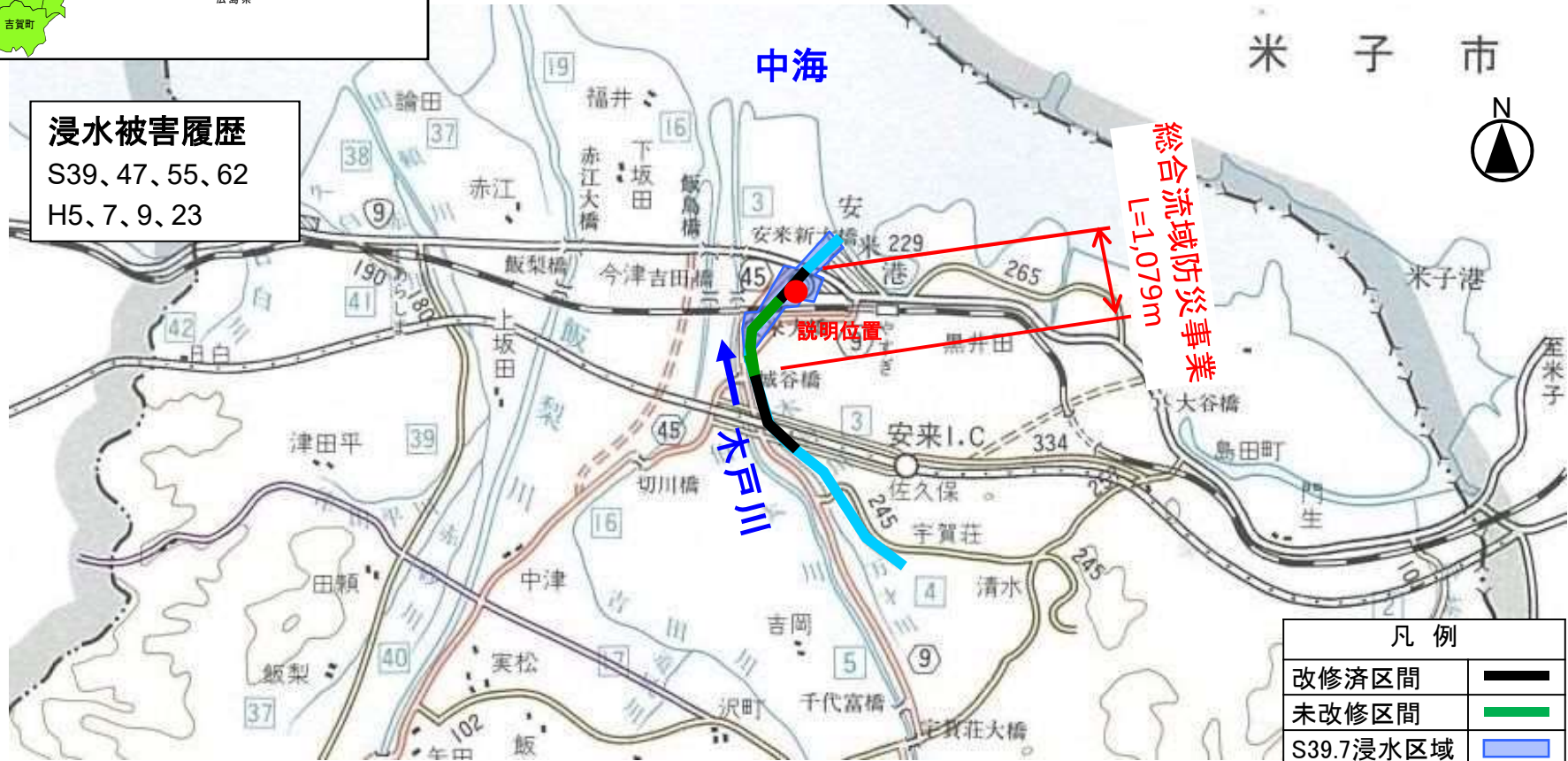


河川概要

木戸川は沿川には家屋が連担しており、河道が狭小であることから、昭和39年、昭和47年の梅雨前線豪雨等による洪水で大きな浸水被害が発生している。木戸川の河川改修を行うことで、地域の安全・安心に大きな役割を果たす。

浸水被害履歴

S39、47、55、62
H5、7、9、23



木戸川 出水状況写真



S39.7出水

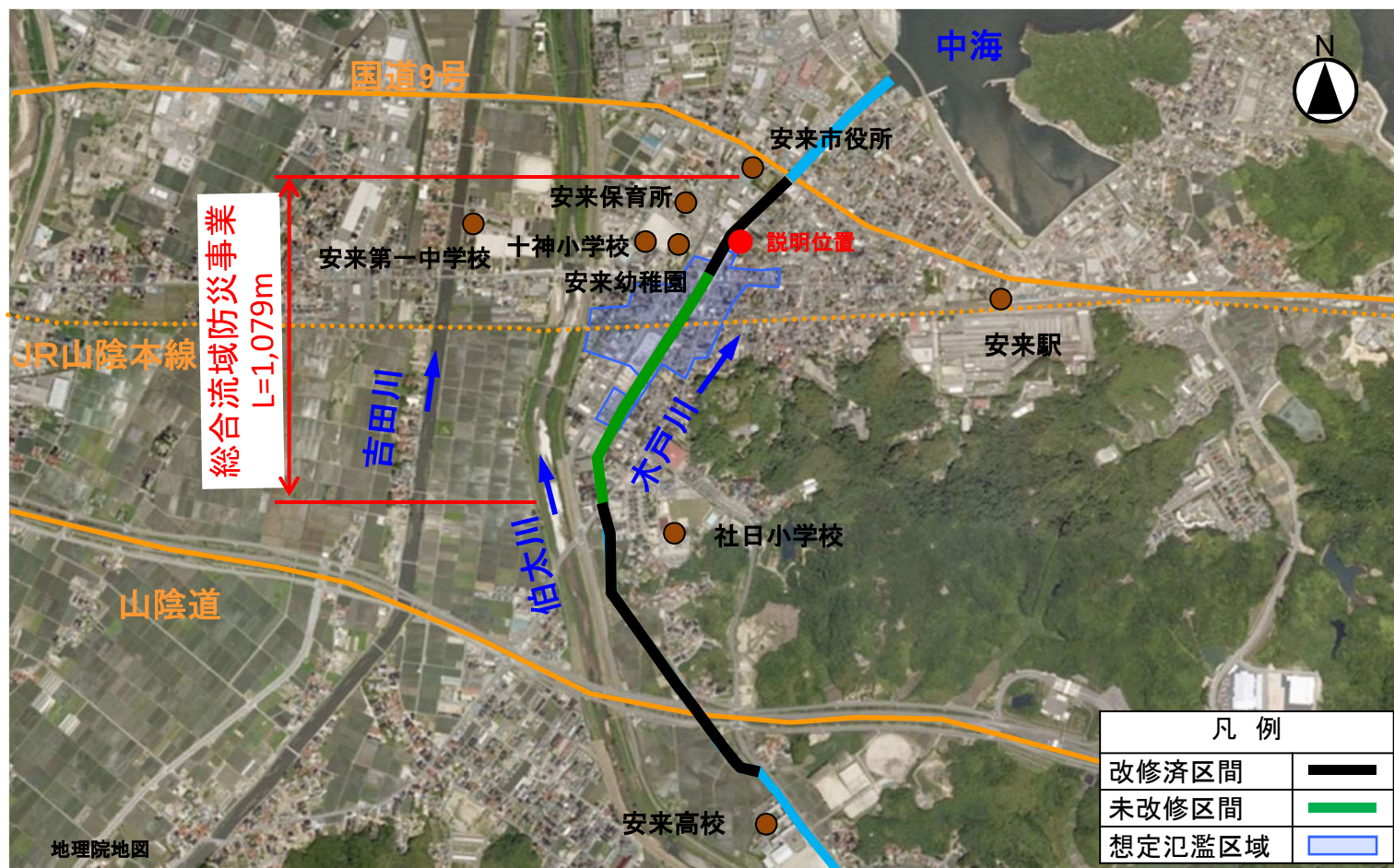


H5.9出水



S55.8出水

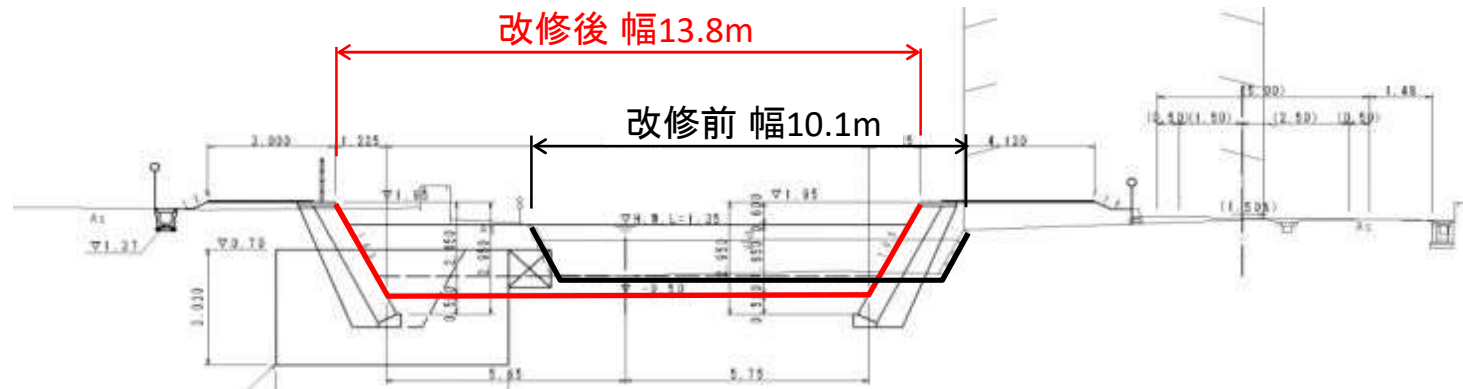
木戸川 想定氾濫区域図(1/2確率)



事業概要

1. 河川の拡幅と河床を掘削することにより流下能力を確保し、沿河市街地の浸水被害を防ぐ。
2. 整備計画のうち250m区間を、市民が安心して水辺に親しむことができる護岸で整備する。「水辺の楽校」

木戸川 標準断面図



河川の拡幅と河床を掘削することにより流下能力を確保し、沿河市街地の浸水被害を防ぐ。



改修前(木戸橋から下流)

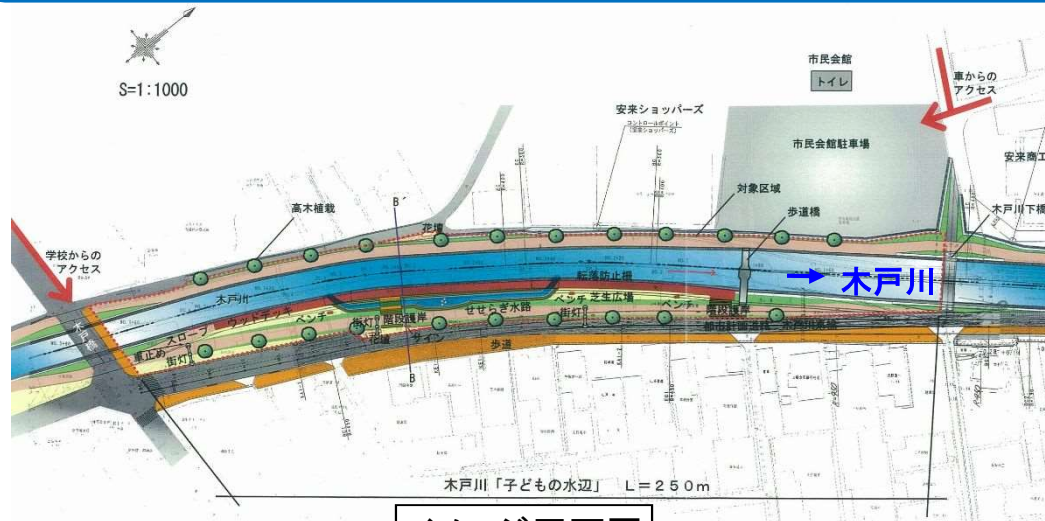


改修後(木戸橋から下流)

木戸川「水辺の楽校」

概要(目的)

- ・『「子どもの水辺」協議会』(県・安来市・地域住民で構成)が策定した整備構想。
- ・安来市役所、十神小学校、安来幼稚園、安来保育所などが周辺に位置し、市民が安心して水辺に親しむことができるように配慮した整備計画(親水護岸)により実施している。



イメージ平面図



整備前



整備後



イメージパース